

## 子どもを安心して育てるために中学生までの医療費を無料化にする ための意見書

少子化の進行は将来の人口減少につながり、社会経済や社会保障に影響を及ぼすとともに、未来を担う子どもたちの健全な成長にも大きな影響を及ぼすことが懸念される。

市民が安心して子どもを産み、育てる環境を整備し、少子化の進行及び他都市への若者の人口流出に歯止めをかけ、姫路市の人口を維持しつつ、市民の福祉の向上を図ることが急務である。

子育てにおいて、乳幼児から中学生までの間は、病気にかかりやすく、また、アレルギー性疾患など長期の治療を要する疾患も増加しており、公による医療費助成制度は重要な役割を担っている。

このような中、兵庫県下41市町のうち24市町が中学生までの医療費無料化（所得制限条件を含む）を行っている一方で、姫路市のこども医療費助成は、乳幼児以外の子どもで外来の場合は、自己負担額の一部助成にとどまっている。

姫路市においては、播磨の中核都市として、健やかな成長を支える子育て支援においても範を示すべきであり、中学生までの医療費の無料化は少子超高齢化社会の今だからこそ実現させなければならない。

については、姫路市に要望するとともに、国・県に対しても積極的な財政的支援を図られるように求められたいことから、下記の事項を強く要望する。

### 記

- 1 中学生までの子どもの医療費を無料にすること。
- 2 医師の確保等、医療体制の充実を図ること。
- 3 本市のこども医療費助成の財政負担は約11億円であるが、中学生までの医療費無料化を実施することで、さらに約10億円が必要となることから、それに伴う必

要な財源を国・県にも負担されたいよう要望すること。

以上、意見書を提出する。

平成26年10月 2日

姫路市議会議長

八木 隆次郎

<送付先>

姫路市長